



年末年始の過ごし方

私たちが子供の頃、大掃除は寒い中でも家族みんなでやって、お正月には書き初めや凧揚げ、かるた取りやすごろく、初詣は家族行事の定番でした。そんな機会に自然に家族の間のコミュニケーションが取れたように思います。また、「去年はこうこうだった。」とか「今年は、これこれこうしよう！」など、親も子供もなんとなく話す雰囲気があったような気がします。

良い悪いではなく、季節感が薄れゆく生活のように思いますが、かきこまった話ではなく気楽に「昨年の反省や新年の目標」を子供達と話す機会を作ることが良いと思います。プライドや自主性を尊重しながら、家庭内で安心して会話ができる雰囲気を作ることが良いそうです。

それと、つい頻繁に使ってしまう「勉強しなさい！」「あなた受験生なんですよ！」、この言葉を聞いて子供はどのように感じるでしょうか。直ぐさま、素直に勉強する子供を私は知りません。大概は「今やるよ！」「うるさいなあ！」かと思います。反抗期の問題もあるでしょうが、強いられた言動は本人のやる気からではない行動を促すものですから、なかなか“言うことを聞かない”と言われていきます。

勉強もスポーツも部活も、自身で納得した自発的なトレーニングが高い成果につながると思われます。“勉強も然り”だそうです。ちょっと苦手そうな科目も「Aをやると、Bのようないいことがあるかも・・・」のようなお声掛けをしてみたらいかがでしょうか。そうしたら「じゃあ、もうちょっときれいにノート書くようにしたら、計算をまちがえなくなるかなあ？」という風に考えながら努力するようになるのではないのでしょうか。

なかなか親の思う通りには行かないことが多いと思います。大変なことではありますが、子供の気持ちに寄り添って、どうしたのかなあ？と話しかけてあげてください。きっと理由があります。私たちが子供の頃には無かったような悩みがあるかもしれません。

新しい年を迎えるにあたり、大掃除をしながら、お餅を食べながら、さりげなく、家族それぞれの希望や将来のことについて会話をし、お互いの夢を表現してみようというのはいかがでしょうか。

ガンバル受験生を応援する食事

食事はパフォーマンスを高めてくれます。

朝食抜きで学校に行くと、何だか頭がぼおーっとしたまま、ということがあると思います。これは脳に栄養が行っていないからで、午前中の授業に身が入らないだけでなく、受験生にとっては、受験本番で頭が働かないという事態になってしまいます。でも、朝起きるのが苦手というお子さんもお母様もいらっしやと思います。1月になったら頑張ってちょっと早起きして朝食に、脳のエネルギー源になるブドウ糖いっぱいのお米と、体を温めてくれる野菜入りの味噌汁、納豆など消化のよいもので受験本番に向けてコンディションを整える練習を始めていただくと良いと思います。



<受験の面接で大切なこと>

中学・高校・大学、入社試験についても面接で大切なことは、自分自身の正直な気持ち、自分の経験を生き生きと発言することです。当たり前のことですが、面談練習してみると、自己PRも含めて、当たり障りのない「正解」を言う人が多いのが現状です。

でも、「君の趣味は何ですか？」
「ご飯のフリカケを食べ比べることです。」と答えたいと思います。肝心なことは、自分が探究していることについて自信を持って語れることだと思います。そうして多少成績表が悪くても、高校に合格した人、大学のAO入試に成功した人、就職活動でキラッと輝いた人は沢山いるそうです。



早くも流行の兆し…
ノロウイルス、インフルエンザどちらも
手洗とうがいです予防しましょう。



☞進路・進学・学習についての個別面談を行っております。

ご希望の方は、下記までご連絡下さい。

ユニスタディ 泥谷(ひじや) ☎042-420-1433 午後3時～夜9時(月～金)

✉ info@uni-study.jp

